



□ 小群川の風景

高麗丘陵に源を発し、落合橋で入間川に合流する延長10.3kmの河川。流域から古代の住居址や古墳などが発見され、また伝説も豊富なことで、古代から母なる川として利用され、親しまれていたことが分かる。川鶴団地、伊勢原団地をはじめとする住宅地が沿川に開発され、堤防の嵩も高くないので、新しく市民となる人々からも親しまれている。近年の河川改修もアメニティーづくりに役かっている。